

Starzen Report

スターゼンレポート

2016/3

(第77期)

第2四半期

2015年4月1日



2015年9月30日

メッセージ－株主の皆様へー P.1

変化するマーケットのニーズを捉えた提案で
商品・サービスの価値を高め、成長につなげます。

トピックス P.3

インフォメーション P.5

- 株式併合についてのご案内／株主優待のご案内
- 会社概要／株式の状況
- 株主メモ／当社ホームページのご案内

株主の皆様へ

変化するマーケットのニーズを捉えた提案で 商品・サービスの価値を高め、成長につなげます。

◆ 当第2四半期(累計)の事業環境について

株主の皆様には、日頃より格別のご支援ならびにご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期(2016年3月期第2四半期累計期間)の

食肉業界は、国内の牛肉、豚肉の出荷量は減少し、高値で推移しました。これは、生産者の減少や、前期の豚流行性下痢症候群(PED)の流行の影響を受けたものです。輸入食肉では、アジア諸国での需要増大や干ばつの影響から牛肉、鶏肉が高値となった一方、豚肉の価格は前年を下回りました。

こうしたなか、当社グループは、安定した供給体制をベースに、国内においては生産力の増強を図るとともに、中食・外食市場向けの加工食品を中心として、商品の付加価値向上を図りました。その一環として、ハンバーグの加工を行う松尾工場に新たな製造ラインを設置し、対応可能な加工の幅を広げています(P3を参照)。

海外への輸出事業では、ニーズが高い和牛を注力商品と位置づけて販売拡大に努めました。なかでも、2014年から輸出が可能となったEU圏において、新たな販売ルートの開拓に注力しました。(P4を参照)。

◆ 業績について

当第2四半期の連結業績は、主力の食肉部門、加工食品およびハム・ソーセージ部門とも増収減益となりました。こ

代表取締役社長 **中津瀨 健**

の結果、売上高は1,516億16百万円(前年同四半期比11.6%増)、営業利益は11億68百万円(同48.5%減)、経常利益は21億86百万円(同14.5%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は13億45百万円(同17.8%減)となりました。

◆ 通期の展望

日本では食料自給率が年々低下し、食肉の安定調達が厳しくなっています。2015年10月に大筋合意に至った環太平洋経済連携協定(TPP)の影響についても、今後、注意深く見極めていく必要があると考えます。さらに、少子高齢化や単身世帯の増加などから、消費のあり方も大きく変化してくるものと想定されます。

この様に変化するマーケットに対応するため、食肉の安定調達基盤のさらなる拡充や加工度を上げた付加価値の高い商品の開発・製造に取り組み、商品供給力の強化を図ります。

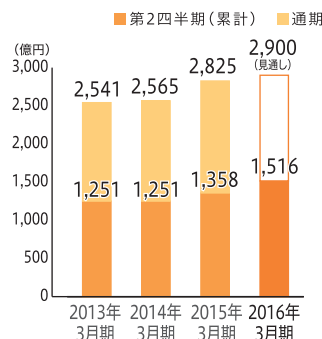
併せてコーポレートガバナンス体制の整備・強化に取り組むとともに、食の安全・安心の基本となる国際規格「SQF」※の認証取得をさらに進めてまいります。

なお、業績予想につきましては期初の発表と変更ありません。

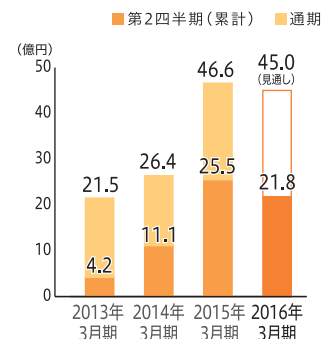
今後とも株主の皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※SQF(Safe Quality Food):食品の安全性を確保するHACCPと品質管理システムを組み合わせた国際規格。当社グループは54カ所で認証取得(2015年9月末時点)。

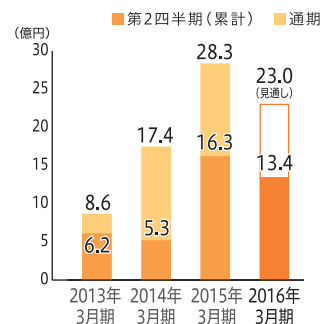
売上高



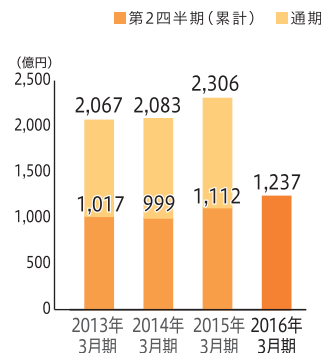
経常利益



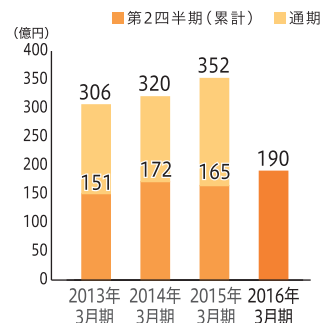
親会社株主に帰属する四半期純利益



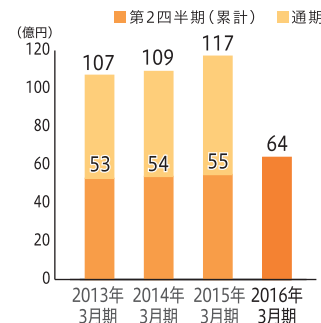
食肉 売上高



加工食品 売上高



ハム・ソーセージ売上高





国内市場の変化への対応

地域の農業に貢献する 「秋田純穂豚」がフード・アクション・ ニッポン アワードで入賞

当社グループは、日本の原風景である水田を守るため、農家の飼料米生産を推進し、その米を給餌した食肉の取り組みを進めています。

その取り組みの一つである「秋田純穂豚」ブランドは、秋田産の米を秋田産の豚に食べさせる「地産」と、養豚農場の堆肥を水田に利用する「循環型農業」を実現。2015年4月より販売を開始しています。

このたび、この取組が評価され、農林水産省が共催する「フード・アクション・ニッポン アワード2015」※で入賞。国産農畜産物の消費拡大に寄与する優れた取り組みとして表彰されました。

これを励みにし、これからも地域農業の維持発展に貢献できるよう、産地との連携を深めてまいります。

※食料自給率向上を図る農林水産省の取り組み「フード・アクション・ニッポン」の一環として創設された表彰制度。国産の農林水産物の消費拡大に寄与した事業者・団体の優れた取り組みを表彰している。



米の地産地消を促進する「秋田純穂豚」ブランド

ハンバーグ加工を担う 松尾工場で製造ラインを増設

当社グループは、近年の消費者の嗜好の変化や中食市場の拡大に伴うお客様ニーズの変化に対応すべく、製造設備の見直しなどに随時取り組んでいます。

2015年4月には、グループのハンバーグ製造を担う松尾工場に製造ラインを増設しました。これにより、需要拡大が続くハンバーグ商品の月間での生産能力を最大で80t拡大するとともに、近年ニーズが高まっている「真空包装」「ソース充填」用の設備を揃えることで、商品の付加価値向上を図りました。

味・品質・衛生管理とも高い評価をいただいている松尾工場のハンバーグについて、さらなる販売拡大を図っていきます。



松尾工場で第二製造
ラインを増設





グローバル化への対応

和牛の認知向上と販売拡大を 目的に海外レストランのシェフ たちを対象とした講習会を開催

当社グループでは、近年、高級レストラン向けなどで海外バイヤーの関心が高まっている和牛の輸出拡大に注力しています。

2015年7月には、イタリア・ミラノで3日間にわたるイベントを開催し、和牛の魅力を伝えました。なかでも2日目に実施した講習会では、三ツ星レストランのシェフたちを対象に、和食メニュー提案のほか、和牛の特徴である和牛香を体感いただく実験なども実施。立ち見が出るほどの盛況となりました。いくつかのレストランは、その後和牛の採用に至り、今後の輸出拡大に弾みをつけました。

このほか、10月には、ドイツで開催された欧州最大の国際見本市「ANUGA 2015」に参加。鹿児島県輸出促進協議会と連携し、和食メニューの試食プレゼンと同時に生産者の講演を実施しました。今後も引き続き、和牛の認知拡大と販路の開拓に取り組んでいきます。



ミラノでは和牛メニューを振舞うイベントなども開催



「ANUGA 2015」にグループとして参加



食の安全・安心の確保

加世田工場がSQF認証を取得 54拠点が取得済みに

当社グループは、食の安全・安心の確保を重要な経営課題と位置づけています。これを実践すべく、食品安全・品質管理に関する国際規格「SQF※」の認証取得を、対象となるすべての拠点で進めています。

2015年5月には、スターゼンミートプロセッサー加世田工場が新たに認証審査に合格しました。グループ全体で見れば、これで対象拠点の96.4%にあたる54事業所が認証を取得したこととなります。

今後も認証取得への取り組みを継続するとともに、オペレーションが形骸化しないよう、社員のコンプライアンス教育などにも注力していきます。

※SQF (Safe Quality Food) : 食品の安全性を確保するHACCPと品質管理システムISO9001を取り入れた国際規格。安全管理に加え、おいしさや食感、形状などの品質管理も対象となる。



新たにSQF認証を取得した加世田工場



Information

株式併合についてのご案内

当社は2015年10月1日をもって、

- 1 当社の普通株式10株を1株といたしました。
- 2 単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

当社は第76回定時株主総会において、左記2点の内容を承認いただきました。なお、株主様におかれましては、これに伴う特段のお手続きの必要はありません。

■ 株式併合による影響 ■

今回の株式併合により、以下の変化が生じますが、株主様がお持ちの当社株式の資産価値に変化はございません。(株式市況の変動などによる影響を除く)
また、株主様がお持ちの権利(議決権、配当^{※1}、株主優待^{※2})につきましても変化はございません。

- 1) 発行済株式総数が10分の1に減少します。
- 2) 一方、1株当たり純資産額は10倍となります。

※1 配当についてはP.2も参照ください。 ※2 株主優待についてはP.5も参照ください。

■ 1株未満の端数が生じる場合の処理 ■

今回の株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合、会社法に基づいて以下のとおり処理します。

- 1) 全株主様の端数分を一括して処分します。
- 2) その処分代金を、端数が生じた株主様に対し、端数の割合に応じてお支払いします。

※このお支払い金額(端数株式処分代金)のご案内は、2015年11月下旬にお送りしております。

株主優待のご案内

日頃からご支援いただいている株主の皆様に感謝の気持ちを込めまして、株主優待を所有株式数に応じ次の通り進呈いたします。

1 自社グループ製品(3月のみ)

※写真は2015年3月期の実績

100株以上

ハム類詰合せ
(3,000円相当)



500株以上

ハム類詰合せ
(5,000円相当)



1,000株以上

国産和牛ステーキ肉
(8,000円相当)



2

100株以上

歳暮ギフト(9月)、中元ギフト(3月)を
通常販売価格の20%割引(送料無料)にてご案内

3

100株以上

「ローマイヤおせち」の割引販売(数量限定)
20%割引(送料無料、9月のみ)にてご案内

会社概要／株式の状況

◆ 会社概要

設 立	1948年6月17日
本 社	〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号
資本金	98億9,975万円
主な事業内容	1.食肉の加工および販売 2.畜産物の生産、加工および売買 3.食肉および畜産物の輸出入 4.食品の製造、加工および売買
主な販売先	スーパーマーケット、食肉専門店、百貨店、 外食産業、コンビニエンスストア、生協、 食品加工メーカー、食肉卸売業、その他
従業員数	2,303名(2015年9月30日現在)

◆ 組織図 (2015年9月30日現在)

事業持株会社 スターゼン株式会社

食肉の販売(国内)

- スターゼン販売(株) ●(株)ゼンチク販売

食肉、食肉加工品の輸出入

- スターゼンインターナショナル(株)

海外子会社

- ゼンチク・オーストラリア PTY.LTD ●スターゼン(アメリカ),INC.
●スターゼンヨーロッパ ApS
●スターゼンシンガポールPte. Ltd.

食肉の処理加工、食肉加工品・食品の製造販売

- スターゼンミートプロセッサー(株)

ハム・ソーセージ、加工食品などの製造販売

- ローマイヤ(株) ●(株)キング食品

生産・肥育

- (有)ホクサツえびのファーム ●(株)美保野ポーク
●(株)雲仙有明ファーム

ロジスティクス・倉庫

- サンエフ(株) ●スターゼン東京物流センター(株)

製麺事業、システム開発、食品検査等

- その他各社

◆ 役員 (2015年9月30日現在)

代表取締役会長	鵜 橋 誠 一	常 勤 監 査 役	片 山 学
代表取締役社長	中津濱 健	常勤監査役(社外)	北 條 秀 樹
常 務 取 締 役	永 野 章	監 査 役 (社 外)	杉 島 光 一
常 務 取 締 役	中 井 俊 夫	監 査 役 (社 外)	吉 原 大 吉
取 締 役	寺 師 孝 一	執 行 役 員	横 田 和 彦
取 締 役	茂 原 馨	執 行 役 員	林 育 司
取 締 役	矢 野 勉	執 行 役 員	定 信 隆 壮
取 締 役	入 江 泰 明	執 行 役 員	岸 博 之
取締役(社外)	鈴 木 宏	執 行 役 員	西 田 啓 二
取締役(社外)	太 田 泰 介	執 行 役 員	西 村 周 司
取締役(社外)	染 谷 止 水		

◆ 株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	87,759,216株
株 主 数	17,685名

● 大株主の状況

名 称	所有株式数(千株)	割合(%)
株式会社三井住友銀行	3,249	3.98
農林中央金庫	3,044	3.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,799	3.43
スターゼン社員持株会	2,403	2.94
株式会社鵜橋興産	2,349	2.88
三井物産株式会社	2,216	2.71
クリアストリーム バンキング エス エー	2,100	2.57
株式会社みずほ銀行	1,603	1.96
クレディ スイス ルクセンブルグ エスエー オン ビハーフ オブ クライアンツ	1,600	1.96
横浜冷凍株式会社	1,532	1.87

注1)当社は2015年9月30日現在、自己株式6,228,211株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。

注2)持株比率は、発行済株式の総数から、自己株式数を控除して計算しています。

注3)当社は2015年10月1日に10株を1株にする株式併合を行っておりますが、上記株式数は併合前の数値となります。

株式メモ

■事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	■単元株式数	100株 (2015年10月1日現在)
■剰余金の配当基準日	3月31日	■株主名簿管理人	東京都中央区 八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
■定時株主総会	毎年6月下旬		
■公告方法	電子公告 http://www.starzen.co.jp/ir/koukoku		

More Information

最新のIR情報は当社ホームページで
ご覧いただけます。

当社の各種IR資料をご覧いただけるほか、オリジナル
のコンテンツを豊富にそろえています。ぜひ当社ホーム
ページをご活用ください。

<http://www.starzen.co.jp>



トップページ



IR情報ページ

スターゼングループの商品は
インターネットでご購入いただけます。

- >> ローマイヤ 通販ショップ
<http://www.lohmeyer-shop.com/>
- >> 楽天市場
<http://www.rakuten.co.jp/starzen-k/>
- >> ぐるなび 食市場
<http://shop.gnavi.co.jp/starzen/>



ローマイヤ
通販ショップ

スターゼン株式会社

〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号

電話：03-3471-5521

